

## 愛をもって真理を語る

(新約聖書: 第一テモテ 1 章 3~11 節) 2020.07.26

<https://youtu.be/GB9rssCsrCY>

おはようございます、ようこそ。日曜の朝、私たちは聖書を 巻ごと、節ごと、章ごとに読み進めています。私たちは、2 週間前にテサロニケ人への手紙第二を 終え、先週からテモテへの手紙第一に入りました。今日は第 1 章の 3 節から 11 節までです。その箇所をお開き下さい。ここに居られる方で可能な方はお立ち下さい。無理な方は座ったままでも結構です。私が読みますのでついてきて下さい。聖霊により使徒パウロは、若い牧師であるテモテに 手紙を書いて、3 節でこう言っています。「私がマケドニアに行くときに言ったように、あなたはエペソにとどまり、ある人たちが違った教えを説いたり、」

### テモテへの手紙第一 1 章

4 果てしない作り話と系図に 心を寄せたりしないように命じなさい。そのようなものは、論議を引き起こすだけで、神に委ねられた信仰の務めを 実現させることにはなりません。

5 この命令が目指す目標は、きよい心と 健全な良心と偽りのない信仰から生まれる愛です。

6 ある人たちはこれらのものを見失い、むなし議論に迷い込み、

7 律法の教師でありたいと望みながら、自分の言っていることも、確信をもって 主張している事柄についても理解していません。

8 私たちは知っています。律法は、次のことを知っていて適切に用いるなら、良いものです。

9 すなわち、律法は正しい人のために あるのではなく、不法な者や不従順な者、不敬虔な者や罪深い者、汚れた者や俗悪な者、父を殺す者や母を殺す者、人を殺す者、

10 淫らな者、男色をする者、人を誘拐する者、嘘をつく者、偽証する者のために、また、そのほかの健全な教えに反する行為のためにあるのです。

11 祝福に満ちた神の、栄光の福音によれば、 そうなのであって、私はその福音を 委ねられたのです。

ご一緒に祈りましょう。私たちの御言葉の理解に、神の祝福を求めます。

主よ、ありがとうございます。主よ、今日、私たちに与えられた この御言葉に感謝します。私たちは、聖書の全てのみことばが、靈感により与えられたことを知っています。それは理由があつてここにあり、時には矯正したり、叱責したり、指導したりするためです。だから主よ、私たちは今朝、あなたの前に謙虚になり、教えを受けられる者でありたく、矯正を受けられる者でありたく、従順な者でありたいです。あなたの御言葉の種が、芽を出し、成長し、多くの実を結ぶことができるように祈ります。イエス様の御名において。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございました。今日は、神の御言葉の中で誤解されがちな原則である、『愛をもって真理を語る』ことについて お話ししたいと思います。具体的には、正義の道から逸脱したり、誤りを犯した者たちに対決するときのことです。導入として、以前、エペソ人への手紙で勉強した節を振り返っておくのが良いと思います。4 章 11 節から 16 節でパウロは、同様の事を言い、この問題を取り上げています。

### エペソ人への手紙 4 章

11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また 教師としてお立てになりました。

12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。

13 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するのです。

14 こうして、私たちはもはや子どもではなく、人の悪巧みや人を欺く悪賢い策略から出た、どんな教えの風にも、吹き回されたり、もてあそばれたりすることがなく、

15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに 向かって成長するのです。

16 キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分はその分に応じて 働くことにより成長して、愛のうちに建てられることになります。

先週、私は今日私たちの前にある御言葉に関して、しばらく時間をかけました。この節をどのように教えるか、どのような取り組むかについて主にうかがった結果、私は「対決」という厳しい話題に 取り組むことにしました。イエーイ、..... 私たちは対決するのが大好きですね？ これは私にとって「やりにくいもの」だと、言わざるを得ません。賛美の間、私はステージの後ろにいて、主に語りかけて、祈っていました。主よ、どうか教えを祝福し、油を注いでください.....そして、思い当たったんですが、皆さんの中には、ここでこの教えを聞く 必要のある人は、一人もいません。むしろ、これは私のためです！私はこれを聞かねばなりません。なぜなら、私が恵みの面で成長し、キリストにあって 成長していくにつれて、私は、大事なのは私が何を言うかという事よりむしろ、私がそれをどのように言うかという事であるのに 気づいたからです。と言うのも、私が苦もなく出来るのは... つまり... 私は...これは賜物です。良い物ではありませんが...でもそれは賜物です。つまり..この舌が.....舌についてはヤコブが語っていますよね... 私たちは巨船や外洋船でも操ることが出来ます。私たちは野獣を飼いならすことが出来ます。でも、この小さな肉片となると、口の中にある「肉」が....だからこそ、それを外に出さないように、神は私たちに白い囲い柵（歯）を 下さったのだと思います。それは制御されずに放っておかれると... ふうっ。死と生が舌に支配されるんです。（箴言 18:21 参照）

ヤコブは、その舌が大火災をも 起こす事ができると言っています。とにかく、来てくれてありがとうございます。「同病相憐れむ」ですから私が自分の罪を感じるなら、皆さんも同じように 罪を感じてもいいんです、とにかく、これについて語る必要があります。以下は、なぜ私たちが実際に命じられているのか、その三つの理由です。これは命令で、勧めではありません。互いに対決しなさい という命令です。一つ目の理由は、3 節と 4 節にあります。それは、私たちが対決するのは、それが正しい事だからです。まるでテモテは... 私はテモテに同情し、責める気はありません。覚えておいてください、彼は若い牧師です。彼は使徒パウロによって指導されています。先週、第一テモテ 1 章の最初の二節で読みましたが、パウロは彼のことを「信仰による真のわが子」と見て 愛を込めてそう呼んでいました。つまり、パウロは彼のことを とても愛しています。しかし、この書簡を読み続けるうちに、また、テモテへの手紙第二でも分かりますが、彼は、すぐに怖じけつきました。彼は若くて確信がなくて、あまり自信を持っていませんでした。そこでパウロは、テモテにエペソに留まるよう 強く励ましています。彼は、彼らと対決せねばならなかったからです。しかし、テモテがそこに留まりたがらなかった という印象を受けますね。私たちの中で、本当に対決を望む人が いるでしょうか？ 私たちは対決を避けるために 可能な限りの事をしませんか？ だからこそパウロは、正しい事をするように 彼を促したのだと思います。「エペソにとどまりなさい。」そして、「正しい事」の問題点はこれです。多くの場合、正しい事は難しい事で

す。それは、これらの偽りの教師や偽りの教義に関して、ここでテモテにも当てはまる事でした。明らかに、それはそこで多くの問題を引き起こして、パウロはテモテにその点で彼らに対決する必要性を訴えています。パウロがこのようなりトマス試験のようなものを持ち出すのは興味深いことです。彼は、そのような事は、論議を引き起こし、注意を散漫させると言います。それは私に言わせれば、ある事が真実であるかどうかを測るためのリトマス試験、測定基準です。それは、私の気をそらせ、私を主から遠ざけるのか？ それとも、私を高め、主に近づけるものなのか？ それが、パウロの言っていることです。パウロは、「そのようなものは論議を引き起こすだけで、神に委ねられた信仰の務めを実現することにはならない」と言っています。これは、何年にもわたる主との歩みにおいて私にも大変役立ちました。それは本当に一つの原則でありあなたはそれを破れません。それに逆らえば、あなた自身が壊れます。言い換えれば、それは人生の原則の一つ、聖書の真理の一つなのです。そういうものなんです。それは測定基準です。私の今の恋愛関係、私のこの趣味、私がしている事、それは私を主から引き離すものか、それとも私を主に近づけるものか？ それがテストです。さらに興味深いのは、先週お話ししましたが、パウロはこの問題を牧師であるテモテにだけでなく、同じく牧師であるテトスにも訴えています。これが、私たちがテモテへの手紙とテトスへの手紙を親しみを込めて牧会書簡と呼んでいる理由です。彼が、3章9節から11節で言っていることを聞いてください。

**9 一方、愚かな議論、系図、争い、律法についての論争は避けなさい。それらは無益で、むなしいものです。**

時間の無駄です。それは心を乱すものです。

彼は10節で、これについて前に話しましたが...

**10 分派を作る者は、一、二度訓戒した後、除名しなさい。**

**11 あなたも知っているとおりに、このような人はゆがんでいて、自分で悪いと知りながら罪を犯しているのです。**

それがどんなに難しくても、正しい事をせねばならない時があるのです。どんなにそれを避けたくても、やらねばならないのです。その人に立ち向かい、避けることなく、対処し、警告し、対決しなければならない。「あなたがしている事は間違っている。」「私は、あなたのことをとても愛しています。」（これについては次に話します。）「愛しているからこそ、言います。」実際、私が本当に気に掛けてなかったら、私は放っておくでしょう。「どうぞ」って。しかし、私はあなたを愛しています。あなたがしている事について忠告せざるを得ないほど、あなたのことを大切に思っています。それが、5節から7節にある、二つ目の理由です。愛するからこそ対決する、ということですね。パウロがエペソ人に手紙を書いて、「愛をもって真理を語り...」と言う時、それは、愛をもって真理を語るのは、愛しているからこそ真理を語る、という考え方です。言い換えれば、私たちは確かに愛情深く、優しく、寛大でありたいと思っています。パウロが言うように、私たちの言葉が恵み(親切)で味付けされているように。(コロサイ 4:6 参照)繰り返しますが、私たちがどの様に言うかが、何を言うかよりも、もっと重要なのです。しかし、私たちは愛をもって真理を語ります。私たちは愛をもって対決しますが、私たちは愛するからこそ対決するのです。パウロがここで言っている事の重要性は、どれだけ誇張してもし過ぎることはないと思います。皆さんも分かりましたか？ つまり、これは使徒パウロの心の中が垣間見えるものです。神は心を見られますよね？ 人はうわべを見るが、神は心を見る。(1サムエル 16:7 参照)

これはパウロの心です。彼は言っています。テモテよ、これは愛にあって、純粋な心からのものだ。私の

動機は純粹であり、私の信仰は誠実です。これは他の人と対決する事に関して、背後の理由を論じるものです。特に、空しい議論に関して。特に、自分たちが何を言っているのかも分からない人たちによるもの。自分たちが律法の教師であると自惚れつつ。その事については後ほど説明します。これは、ヤコブの手紙3章1節ですが、私はヤコブが大好きです。皆さんは、ヤコブが受肉した神と一緒に育ったことを認識せねばなりません。知ってますよね？ ヤコブはキリストであるイエスの異父兄弟でした。完璧で罪の全くない兄弟と一緒に成長するのを想像できますか？ 彼の部屋はいつもきれいで、いつも従順です。想像できますか？ ママとパパが「なんでもっとお兄ちゃんみたいになれないの？」 そんな感じで育ったんですね。教会の歴史家たちは… あまり話をずらすつもりはなかったのですが、既にやっちゃったようです。教会の歴史家たちは、ヤコブは、後になるまで、兄弟であるキリストの救いの知識を得なかったと示唆しています。私がヤコブを好きなのは、とにかく、ずばずば言うところです。ヤコブは意地悪だったと思われそうですが、それは間違いです。絶対違います。彼は、面と向かって、正面から対決しました。そうするほどまでに、彼は愛し、気にかけていたからです。ですから、ヤコブの手紙を読む時… ヤコブの手紙はあまり楽しめないんですよね。むしろヤコブの手紙に「耐える」という感じですね。そのような本の一冊なのです…。携挙の前に、私たちはヤコブの手紙に 入るかもしれません。まだわかりませんが…しかし、それは、その書を勉強すると、「私はまだ救われているのだろうか」と思ってしまうような書の一つです。この書は「新約聖書の箴言」に例えられています。知恵が書かれているんです。それは、知恵と励ましと叱責に満ちています。必要な叱責です。そして、第3章1節もその通りです。「私の兄弟たち、多くの人が教師になってはいけません。」なぜか知りたいですか？ 私はあなたを説得して思いとどませようとしている。なぜだか知りたいですか？ なぜなら、「あなたがたが知っているように、私たち教師は（彼自身も含めて）、より厳しいさばきを受けます」から。なぜ私があるあなた方にここにきて欲しかったのか、その理由がお分かりですね。私のように罪の意識を持って欲しかったから(笑) 私は神の言葉の教師として もっと厳しく裁かれることになりますから。主が私に与えて下さった牧師・教師という賜物を使って私が何をしたのか、主の御前に立つとき、私は責任を問われることになります。私は申し開きをする必要があり、私は適切に、もっと厳しく裁かれます。さて、残りの時間を費やしたいのはこの三つ目の理由です。8節から11節です。これは最初に読んだ時は、分かり切った事のように思えますが、私たちが対決する理由は、彼らをイエスに導くためです。私はさらに一歩踏み込んで、場合によっては、彼らに対決するのは、彼らをイエスのもとに連れ戻すためだ、とも付け加えておきます。私は6章でパウロがガラテヤの教会に言った事について考えます。いわゆる「道を踏み外してしまった」人を回復させることについて。しかし、優しく、愛を持って、謙虚にするのです。そして自分の事も注意してください。思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。相手を十分に愛していれば、相手と対決することも厭わず、彼らを正しい道に戻し、彼らを主に立ち返らせるのです。ここでパウロは、テモテが若い牧師として 立ち向かわねばならなかった問題について、具体的に述べているようです。律法を悪用し、人々を律法の呪いの下に偽って導いている律法主義者たちがいたようです。これは律法の意図ではありません。それは律法の目的ではありません。それが神が律法を与えた理由ではありません。神が律法を与えられた理由、律法の意図は、私たちに、私たち自身を示すことです。よく聞いて下さい。それは鏡です。それは完璧で非の打ちどころがありません。それは、鏡、つまり神の律法の鏡です。神の完全な律法を見つめるとき、あなたは神が見るように、自分を見るのです。自分が自分を見るようにではなく。なぜなら、本当のところ、私たちは常に、自分の

事は最も好意的に見ませんか？ 私はいつも、最近学び終えた箴言の書のことを 考えます。そして対照的な箴言において...義人は” こうする” って書いてあるものです。ああ。しかし！！ 邪悪な者は、” ああする” ！ 私たちはこうします。誰かのことが頭に浮かびます。「そうだ、彼らはこれを聞く必要がある。」なぜなら、もちろん、.... 「私は何と言ったらいいか...」「義人はこうするのです。 どうもありがとうございます。」神はこんな具合です。「あー、それはあなたのことじゃない。」いや、それは独善です。そして、 イザヤが言うに、独善は不潔な着物の用で、お許しくださいね、しかし、原語では それは生理用の布のことを指しています。汚れた布、それがあなた自身の義です。そして、あまり突っ込み過ぎないようにしますが、 それには説明があるんです。なぜなら、妊娠がなければ、死だからです。いいですか、それがあなたの義が行き着くものです。 あなた自身の義が。そういったものなのです。そこで、ここで問題があります。主を分かち合うのが最も難しい人や、 対決して真理を語るのが一番難しい人は、 こう言う人達ではないでしょうか？ 「何が悪いんだ？ 何か文句あるの？」「私は、誰も傷つけてないよ。」「大丈夫ですよ、問題ありません。」あれ、嫌じゃないですか？ 許してくださいね。でも… すべて大丈夫じゃありません！ そうではありません！ 実際、それは本当に悪いのです！ 本当に悪いんです。神の律法の鏡を見れば、 どれほど悪いことかが分かります。それが律法の目的であり、 それが律法の意図です。何が起こっていたかという、 彼らは人々を律法の下に連れ戻していたようで、それが大きな問題を引き起こしていたようです。真剣に考えてみたら、 もし私が律法の下に戻ったら、私は全くもって絶望的です。皆さんもそう。 万事終わり。私たち全員が不十分です。私たち全員が罪を犯しており、 律法の目的はそこにあります。少しだけ十戒の話をししましょう。私たちは神の律法の鏡を見ます。 第一の戒め、有罪。 第二の戒め、有罪です。その様にして、私は、皆さん同様、 十戒全てに有罪です。罪状認否をしると言われれば、私は告発通り 有罪の申し立てをせねばなりません。あなたは どうするつもりですか？ あなたは神の律法を破ったのですから。あなたは神の基準に及ばない。 あなたは違反をした。 どうする？ 「わかりません。」「罰則は何ですか？」 ああ、それは死刑です。「これで私の一日が台無しになった。 いや、人生が台無しだ。」「それは何か悪い知らせだね。」 そうだよ、言っておいたでしょう。 本当に悪い知らせだ。良い知らせを聞く準備はできていますか？ 「すっごく良い知らせを聞きたいよ。」そこに養育係としての聖霊が来てくださるのです。これから話をしますが、そして、あなたを救い主のところへ 連れて行ってくださるのです。 そのお方はあなたのために、あなたの代わりに 律法を満たしてくださったのです。これがパウロの言っている事です。これらの人々はイエスのもとに 戻らないといけません。彼らは律法の下にいます。そして彼らは、 あなたも律法の下に連れて行こうとしています。ガラテヤ人への手紙3章 10 節から始まって パウロの書いている事を聞いてください。

### ガラテヤ人への手紙3章

**10 律法の行いによる人々はみな、のろいのもとにあります。【律法の書に書いてあるすべてのことを 守り行わない者はみな、のろわれる】 と書いてあるからです。**

「何もかも？」 そう、全部です。「うーん、私はほとんど全部やった。」 いいえ！ 十分ではありません 「私はいくつかしようとした....」 いや！ 十分ではない。あなたは、すべての事を、毎回、やらねばならない。そして、全てをやり続けねばなりません。「それでは、無理です！」 まあ、そこがポイントです。イエスが登場して、「わたしは道であり、 真理であり、いのちなのです。」と言われました。そして、「わたしを通してでなければ、 だれも父のみもとに行くことはできません。」「あなたが道なのですか？」 そうだよ。「どうしてそんなことが可能なの？」 わたしは、律法を全うしたからです。「そうなんですか？」

そうだよ。「私はあなたにあやかって良いんですか？」そこがポイントです！そこです！「待つて。つまり律法の目的は、私がどれだけ呪われているかを示すためだと言うのですか？」そうだ。なぜなら、律法を守ることは出来ないから。律法は、守るために与えられたものではないのです。彼は 11 節で、次のように述べています。

11 律法によって神の前に義と認められる者が、だれもいないということは明らかです。『義人は信仰によって生きる』からです。

12 律法は、『信仰による』ではありません。それどころか、『律法の掟を行う人は、その掟によって生きる』のです。

13 キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。『木（柱）にかけられた者はみな、のろわれている』と書いてあるからです。（ある訳では「木」となっていますが）

14 それは、アブラハムへの祝福がキリスト・イエスによって異邦人に及び、私たちが信仰によって約束の御霊を受けようになるためでした。

聖霊のことです。どうか聞いてください。聖なる人生を歩む唯一の方法は、聖霊によるのみです。聖霊、聖なる人生。私が最も哀れみと悲しみを感ずるクリスチャンは、私もそのうちの一人ですが…私もいまだにやりますから。私は 38 年間主と共に歩んでいるのに、自分の力でどうにかしようとしてます。特に、しくじった後で。「あなたが、しくじるんですか？」ええ、まあ…「いや、あなたは牧師ですよ。」あなたには想像もつかないでしょう。そんな風に私を見ないで下さい…私は肉の思いを持ち、罪を犯します。

ヨハネはこう言いました。

「もし罪がないと言う人がいるなら、その人は嘘つきだ。」（1ヨハネ1:8参照）

そして、敵はすぐそこにいて、それはこんな感じです。「お前はこう聞いた事があるだろう？」「お前はあの映画を見た事があるだろう？」「お前はあの歌を聞いたことがあって、このダンスを踊っただろう？」「またやったなんて信じられない！」「しばらく身を隠した方が良い。私だったらそうする。」「お前はしくじったんだ。」そうです、私はやっちゃった。「あのね、どうせハリケーンの警報が出るから、私だったら今日は教会には行かないよ。あれをやっちゃった後は特にね」お分かりですか…？

あなたを主から遠ざける時、それが主ではないことが分かります。それは罪を自覚させるものではありません。それは非難（罪に定めること）です。

「こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。」（ローマ8:1）

聖霊が私たちに罪を示すと、私たちは罪の赦しを求めて、神に近づきます。そして逆に悪魔は、私たちが赦しを頂ける唯一の方から私たちに遠ざけるために、私たちに非難します。こういう言い方をすれば、それが彼の主要な目標なのです。悪魔の目的はそれだけです。そして悪魔は、いつも私たちに律法を見せつけています。彼はいつも私たちにしつこくなじっています。「お前、欲しがったよね？」「ああ、お前があの日、ビーチへ散歩に行った時にした事を見たぞ。」「お前はあの新築の家を見た。カイルアビーチの真横の。」「すごい、二つくらいゲストハウスがあって、プールも…」 私たちも本土に居た頃は、プールがありました。（涙）…申し訳ありません 私はそのそばを歩きながら、こんなになって「すっごー！これは、うわあ〜！」「私がここに住めたらなあ…」そして、主はすぐそこにおられますが、もちろん敵がこう来ます。「お前は欲しがっている！」分かっている…有罪だ。私は有罪です…「それは罪だ！」分

かっています！それが罪なのは...そして、聖霊がこう言うのです。「ところでJD、ネタバレだけど、あなたがここで欲しがっている物ね、」「つまり、それがカイルアビーチのすぐそばにあつて、どんなに立派で素晴らしくてもね、それは天国では、トイレのようですらない。」ひどい描写ですみません。トイレはないと思いますが、要点はわかりますね。「それはあなたのために準備された大邸宅に比べたら、屋外トイレのレベルにさえ達しないだろう。」「何をしてるのか？」ごめんなさい、主よ。ごめんなさい。またやっちゃいました。また私を正気に戻して下さい、ありがとうございます。またあなたの元へと戻して下さい。これが聖霊がすることであり、これが律法の要点です。それはあなたにあなた自身を見せる事です。あなたはしくじった！またしても。そこで、あなたは何をするつもりですか？それがガラテヤ人への手紙3章24節です。「こうして、律法は私たちをキリストに導く養育係となりました。」別の翻訳では、「教師（校長）」と訳しています。さて、私が高校で非常にお世話になった(笑) 校長先生を想像しないで下さい。小学校、中学校でも 校長先生と顔なじみでした。いつも生徒を校長室に入れているような、 厳格なタイプの校長先生です。校長室には私の名前付きの指定席がありました。そのような校長ではありません。そんな教師ではありませんどちらかというと、養育係というか 教官という感じで、あなたの手を取って、救世主のところへ連れて行ってくれます。「さあ、さあ。しくじったね。」「あなたが行くべきは...」校長室ではなくて、しかし、聖霊はあなたを罪の赦しを得られる 救い主のところへ連れて行って下さるのです。ヨハネの手紙第一1章9節「もし私たちが自分の罪を告白するのなら...」それだけで良いのです。ちなみにこれはお得です。下品な言い方で恐縮ですが、これはお買い得です。一個分で二つ買えます。私たちはただ一つの事をするだけです。私たちは罪を告白します。すると、神は二つの事をして下さいます。だからお得なんですよ。私たちが告白する。それが私たちがする唯一のことです。すると神は、二つの事をして下さいます。まず神は、瞬時に私たちを許してくれます。そして、第二に、私たちをすべての不義から清めて下さるのです。なお、敵がするもう一つの事があります。赦しは求めれば、得られます。再度、ヤコブの言うことを考えます。彼が言っている文脈で、異なる語でそれを表現します。それは祈りの文脈で言われているんですが、赦しを求める祈り、罪を告白して赦しを求めること、

### あなたが赦しを得ていないのは、赦しを求めているからです。（ヤコブ 4:2 参照）

あなたと赦しの間に立ちだかる唯一のものは、「主よ、私をお赦しください」と願って祈ることだけです。「私を赦してください。」それだけです。私たちが地上の父を見るように天の父を見るとき、私たちは大きな誤りを犯します。私は、父との関係が あまり良くありませんでした。実際、父はいつも私に腹を立てていました。正当な理由があつたのは 間違いないでしょうが...でも、あまりにもひどかったので..。私は、朝、父が家を出るまで起きないで、父が家に戻る前に寝るようにしていました。父はいつも私に腹を立てていたので、私は彼の周りにいたくなかったのです。私はいつも問題を起こしてました。かつてこう言ったのは マーク・トウェインだつたと思います。「一日の終わりに子供のお尻を叩きなさい。彼らは間違いなく何かやったはずだから。」それが私でした。私はいつも問題を起こしてました。だから、特に新しい信者として、私が 理解しなければならなかつたことの一つは、私の天の御父は、ただその様な方でないだけでなく、その正反対のお方だという事です。私には言いやすい事ですが、お母さんが子供に言います。「お父さんが帰ってくるまで待つてなさい！」イヤーやめてよ～オ そんなものではありません、天の父はその逆なのです。私たちは自分自身を遠ざける傾向があり、天の御父が折檻ベルトを持って待つているのを 想像してしまうんです。何の事か分かりますか？ ベルトです。それか

木のスプーン。あなたはスプーンっ子だったかも。私は上述のもの全てでした。それを証明する傷跡もあります。あの木のスプーン... 子供たちはそれを隠すのですよね。お父さんはまた買いに行かないといけません。しかし、天の父はベルトや木のスプーンを持って 待っているわけではありません。神は、自分の怒りと憤怒のすべてを、ひとり子に負わせられました。キリスト・イエスに。彼は私たちのために罰を受けて下さいました。彼は私たちの代わりに 罰則を支払って下さいました。彼はもう怒っていません。彼は怒っていない。実際、想像してみれるなら、あなたが天の御父のところに行って、罪を告白し、赦しを求めたら、御父はこんな感じですか。「何でもっと早く来なかったんだ？」え？私は外出禁止じゃないの？「違う！入って来なさい！」私たちが親しみを込めて呼ぶ放蕩息子のたとえはどうですか。特に私たちの文化ではそれは見落とされがちです。そのたとえ話がとても具体的なものには、もっともな理由があります。イエスがこのたとえ話で教えているのは、不従順で恩知らずで、特権意識のある...（これは良い表現ですね。）息子のことです。「俺には相続を受ける権利がある。」よしわかった、いいだろうと、父は彼に相続財産を与えます。息子は出て行って何をしますか？彼はすっかりそれを浪費します。彼はどん底に落ちて、豚の糞の始末をしていました。理解すべきですが、ユダヤ人にとって、それはあんまりコーシャ(清浄)ではありません。彼は考えました。「俺が家に帰ったら、たとえ父親の下僕になってもこれよりはマシだ。」「だから、そうしよう。」「父さんは... 間違いなく俺は生涯、外出禁止だ。」「でも、戻ろう。今の状態よりもいいだろうから...」私は想像します。例え話ですが、要点は分かりますよね。私は彼が、父のもとに戻る途中ずっと練習する姿を想像します。「こう言うぞ。『お父さん、本当にごめんなさい。』いまいちだな。」「これはどうかな？」「『天にまします父よ...』、いやいや、それじゃなくて、別のものだ。」「いや、こう言おう。『赦して下さい。私は遺産を全て浪費してしまいました。』」そして彼が近づいた時、何が見えたのでしょうか？ ベルトを持ってドアの前に立っている父親...。いえ...彼は実際、私道にいます... 私が勝手に作ってますが、ご容赦ください。父は私道で待っている。父親が祈っていなかった、なんてことを一瞬たりとも考えないでください。息子が戻ることを願い、毎日、一日中、毎晩、一晩中祈っていました。そして彼は、息子が遠くから来るのを見ます。私は、おそらくこの場面が、聖書全体で、何と云うか、最も感動的なものだと思いますが、父親はローブをからげて息子の元へ駆け寄ります。それは、中東では考えられない事です。アラブ人の家庭で、アラブ人の父親を持って育った人間として言います。そんなの絶対に見ることはありません。父親が息子に駆け寄ることはあり得ない。息子が父親のところへ這い寄るのです。それが、このたとえ話の要点です。父は大喜びして、息子のところに走って行きます。父は息子を抱きしめ、二人の顔には きっと涙が流れていたことでしょう。ああ、帰り道で息子が練習した台本は？ もう要らない！ ほー！想像できますか？彼はこれを予期していませんでした！ 厳しい処分を受けるに違いないと 予想していました。その代わりに、彼は愛され、抱擁され、それだけではありません！ 彼には、大宴会が用意されていた。それで、兄が、「冗談だろ！」と...「正気じゃないでしょう！」「なんでそんな事するんです?!」「私はこれまでずっと従順な息子だった。」「遺産を求めたわけでもない。弟のような特権意識もない。」「私は遺産を食いつぶして戻ってきて、それを忘れてもらおうなんて思ったりしてもない。」彼はそれを忘れてるわけではありません...この譬えのポイントは、どうやら 長男の方に関係がありそうですね。そして、予型もあります。ある人たちが示唆しているように、長男はイスラエルの図で、もう一人の息子は異邦人の図です。ここで、彼ら(異邦人)は、彼ら(イスラエル)の神と このような関係を持っていて、私たちはユダヤ人にねたみを起こさせるんですね。(ローマ 11:11 参照)イスラエルへ行くのが好きなことの一つは..

いつ行っても、…彼らは私の事を どうしたらいいか分からないんです。 私はどうも不可解な存在ですから。私は、彼らの事をユダヤ人として 愛しているアラブ人です。彼らにとって何が本当に難しいかと言うと、一それは謎なんですよ一彼らは、私が彼らの神と持っている関係に 嫉妬しています。彼らは、「本当に？」一ええ、そうなんです。そして彼らは、どうしたら良いか分からないんです。彼らにねたみを引き起こさせるというのは そういう事です「あなたは私たちの神と関係を持ってるって？」一はい。「でも、アラブ人でしょう？」一そうなんです、すごいですよね？「どうしてそんなことが可能なんだ？」一イエス様です。なぜなら、キリストにあっては 区別がないからです。ユダヤ人とギリシヤ人、アラブ人とハワイ人、ポダギイー(\*ポルトガル人のハワイ風発音)の間には 何の区別もありません。今のいけませんか？ そんな風に言うべきじゃないかも。要点はお分かりですね。いいでしょう。主をたたえよ！ポダギイー、言っちゃいました。私のポダギイー兄弟。しかし、私たちは聖霊という養育係によって、信仰によって義と認められるために、キリストのもとに連れて来られたのです。私は「義とされる」という言葉が大好きです。ですよ？その言葉の意味を知っていますか？それは、文字通りの意味で、その意味そのままを表す言葉の一つです。「あなたは義とされてます。」知っていますよ。私が一度も罪を犯したことがないかのように。(Just if I'd never sinned ⇔ Justified)それが、「義とされる」という意味です。私はその言葉が大好きです。すごく素敵な言葉ですね。弁明的な文脈があるのには気づいてますが、「私が一度も罪を犯した事がないかのように」です。私はキリストにあって義とされています。と言うのも、私がその律法の前に立つと、それは私の罪のことで私に對峙し、私に私の罪を見せるのです。そして、私はキリストのもとに行く時にだけ、義とされるのです。結論に行く前に言っておきます。もしあなたが今日ここにいらっしゃるか、ネットでご覧になっていて、敵があなたを意のままにしてきたなら...つまり、彼があなたを叩きのめして、やっつけ、あなたを抑えつけておこうとしているなら、私は、神の御言葉の權威によって あなたを励ましたい。神は貴方を愛しています。あなたは許されてます。「でもあなたはそれが どれほど酷いか分かってない。」でも、聞いてください。対決という事について、大事な事の一つは、その受け手側に立つ時、あなたは教えられやすく、矯正されやすくなければなりません。頑なにならず、心を閉ざさないでください。あなたがいち早くへりくだるほど、それはあなたのためになります。自らへりくだって、罪を告白するのです。そうすれば、主はあなたを回復させ 食卓を用意してくださいます。そして、主はあなたのために 大宴会を用意してくれるのです。あなたが戻ってきたから。質問をして終わりにしたいと思います。これは、私が認めたくないくらい、自分で頻繁に 自問しているものである事を知っておいてください。質問はこれです。誰かと対決して、愛をもって 真理を語ることに私の気が進まないのは、相手がどのように反応するかを 私が恐れているからか？だから私はそれを避けているのか？もしそうならば、それは私が相手から好かれたくて、私に對して怒りを持って欲しくないからか？それは人間に対する恐れです。そして、それは罨です。箴言にそうあります。私が主との歩みの中で学んでいるの事の一つは、私が彼らに立ち向かうと、最初は 彼らは不快に思い、私に腹を立てるかもしれない、しかし最終的には、彼らは、私が氣遣うあまりに口出した事に 感謝するという事です。それは箴言 27: 6 です。「愛する者が傷つけるのは誠実による。憎む者は多くの口づけでもてなす。」じっくり考えて下さい。つまり、あなたが私に、私が聞きたい事だけを言い、私が聞く必要がある事を 私に言うつもりがないなら、あなたは友達ではありません。実際、友でないだけでなく、あなたは私を騙しています。あなたは私を迷わせ、私のことなど気にもしない。なぜなら、あなたが本当に 私のことを大事に思うなら、私に何かを言うでしょう。本当に私のことを、

気にかけてくれているとしたら... 「愛する者が傷つけるのは誠実による。」 キーワードは「傷」。時には痛いんです。「君は真実に耐えられない！」と私たちは言います。時には、それは辛いから。聞くのが辛い。何年も前に... さっき終わると言ったんですけど... ちょっと思いついたんです。聖霊だと思います。もしかしたら、ここに居らっしゃる方か、オンラインで見ている方のためかもしれません。何年も前に、私はカウンセリングを受けました。非常に良い、神の御心に沿ったカウンセリングで、ただ座って、黙って (shut up) この言葉で誰かの気を悪くしてたら、申し訳ありません。そしてひたすら妻の話を聞きました。お口チャックで。舌の事を覚えてますか？ それは本当に難しいんです。私の舌は傷だらけです。それを中に閉じ込めておこうとして... 私たちは「○▽×△□...」と言いたい事がたくさんあるからです。彼らが言い終える前に！ あなたは聞いてもいません。それに応答して、次に何を言おうかと考えています。ほら、ほら。ところで、奥さん方、ご主人方、今、肘で突っつき合わないで下さいね。しかし、真実のところは、あなたが対立している時は...それが真実なんだけど、あなたは聞きたくない... それでどうしますか？ あなたは そらします。「私？ あなたはどうなんです?!」しかし、それは最も苦痛なことの一つでしたが、それでも、もし私がやり直さねばならないとしたら、私はそこから得られたものを 何とも交換するつもりはありません。私は座り、彼女が話し始めます...それはもう... 私はもっとポップコーンを用意しておくべきでした。長かったから。あの DVD は本当に... DVD はもう時代遅れだな..... ブルーレイでもない。ライブ配信！ あのライブ配信は本当に長かった。彼女はリストを読み続けました。「あなたがこうするとね、私は傷つくの...」私の内にあるもの全てが 自己弁護したがりでした！ そうすると、主は、ダメだと言います。「ええ、でもこれは本当に難しいんです。」そこがポイントなんだよ。「これは本当に聞き辛いです。」しかし、あなたはそれを聞く必要がある。「愛する者が傷つけるのは誠実による。」ところで、このように考えてください。これはさらに聞き辛いかもしれません。でも、ご主人方、あなたが奥さんに 耳を傾けるつもりがないなら、別の男がそうしますよ。あなたが座って話を聞こうとしないのであれば、あなたは、彼らにお膳立てしているのです。ペテロの言うように、

「同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器で あることを理解して妻とともに暮らさなさい。また、いのちの恵みをもとに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。」(ペテロの手紙 第一 3 章 7 節)

ホー！それはまた別の機会の説教主題です。しかし、あなたが時間をかけようとせず、奥さんにすべてを率直に話させてあげるほど 大事に思っていないなら、敵は、誰かを彼女に会わせる準備があって、本当にそうするでしょう。それはしょっちゅうある事です。言いたくないけど、本当なんです。お立ちください、祈りましょう。こんな終わり方で申し訳ありません。話の結末を言った方がいいですね。彼女が座って色々な事を言うんですけど... 「私はとっても酷い夫だな。」ええ、あなたは酷い夫です。あなたは、とにかく嫌な奴。彼女が言った事はすべて... 巻物になるほど長かったんですけど、どうぞ。 賛美チームは壇上へ。もうすぐ終わりますから。巻物に全部あったんですが、下に 表題を入れる事が出来ました。一語で。「嫌な奴」私はそうだったから。すごく嫌な奴です。しかし、彼女は私に真実を語っていました。信じられないかもしれませんが、びっくり！ 彼女は私を愛してくれているからです。彼女は私のことを愛してくれている。彼女は私を愛しているからこそ、私に本当のことを話してくれるのです。子供たちも....これが最後の、最後の、最後の、締めくくりになると思います。私は子供のことを考えます。私たちは彼らを矯正しますよね？ 躰けないといけませんね。なぜそうするのでしょうか？ 彼らを愛して

いるからです。親としては「愛してるからこそ、こうするんだよ」って言いますよね。それに対し子供は、たいてい、こういう意味の事を言います。「そんなに愛してくれなければいいのに...」ああ、これはどうですか？「あなたよりも私の方がはるかに痛いよ。」子供はこう言います。「そうは思わないけど！」でも何故そうするのでしょうか？私たちは彼らをととても愛しているからです。考えてみてください。もし子どもを愛していなかったら、私たちは「いいよ！」と言うでしょう。3歳だがナイフでお手玉をしていいよ。どうでもいいから。それは私のお気に入りです。私たちは、子供たちにそうやってきました。道理で彼らは混乱してるわけです。でも、どうでもよかったら、私は放っておくでしょう。しかし、私はあなたをととても愛しています。それが、私たちの天の御父と私たちとの関係であり、有り様なのです。神は私たちをととても愛しており、時には誰かを私たちの人生に送り込まれます。私たちはそれが誰であるかを選ぶことはできません。彼らが、代弁者、器、送話口となって、彼らを通して神が語られるのです。預言者ナタンがダビデに対決して言ったようなものです。「あなたがその男です。」すると、ダビデはひれ伏して悔い改めた...もしかしたら今日、聖霊が、ここにいる何人かに語りかけているのかもしれませんが。神はナタンと同じ聖霊を送るほどにあなたを愛されています。祈りましょう。父よ、主よ、本当にありがとうございます。我々は、決まり文句のように言います。"父が一番よく知っている、母が一番よく知っている"でも主よ、何が私たちに最善かはあなたが知っておられます。あなたは私たちに理解させるために、手段を選ばず、何でもされます。それがどういう事でも。あなたが私たちを愛しておられるからです。主よ、私たちが対立の受け入れ側にいても、その反対側にいても、それが愛において、愛をもってなされ、またそういうものとして受け入れられるように祈ります。主よ、感謝します。イエス様の御名において。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペル・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7